

平成29年成人式開催

1月8日、県立浜山体育館(カミアリーナ)で成人式を開催し、出席した新成人1,420人の新たな門出を祝いました。

式典では、長岡市長が「ふるさと出雲の担い手として力強く羽ばたいてほしい。」とあいさつし、新成人を代表して昨年念願の女流棋士となった里見咲紀さんが、支えてくれた周囲の方々に感謝を述べるとともに「常に向上心を持ち続け、失敗することを恐れずに、一日一日を全力で楽しみます。」と決意を語りました。

新成人の皆さんの輝かしい未来を応援しています。



▲「愛しきわが出雲」を合唱する新成人



▲代表スピーチをする里見さん



子ども吉兆さん練り歩き

1月28日、たいしや保育園の園児による子ども吉兆行事が行われ、神門通りや出雲大社境内などを練り歩きました。

年長男児は神楽衣装を身に付けた番内役となり、年長女児は手作りの小太鼓をたたき、年中・年少児らは大太鼓や吉兆幡を乗せた台車を引っ張りました。笛や太鼓のにぎやかな音色に誘われるように沿道には人々が集まり、かわいい吉兆さんの姿に目を細めていました。

「文化財防火デー」

昭和24年に法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけに、文化庁と消防庁では1月26日を「文化財防火デー」と定め、毎年この日を中心に全国で文化財の防火運動が行われています。

出雲市においても、県と市、市消防本部が合同パトロールを実施し、このうち1月22日に日御碕神社、26日に出雲大社、29日に須佐神社で、自衛消防隊や消防団などが寒風の中、放水訓練を行いました。参加者は、文化財を火災から守るために真剣に訓練に取り組みました。



須佐神社での放水訓練



「やさしい日本語」で交流する参加者の皆さん

多文化共生の地域づくり研修会

市では今年度、「出雲市多文化共生推進プラン」を策定し、さまざまな文化や言語をもつ人と同じ地域で暮らすための取組を進めています。

昨年11月から3回シリーズで開催した市民向け研修会では、県外の取組や、市内で活動する日本語教室、NPO団体の活動報告発表から、身近にできる取組を考えました。1月29日の研修会では、全国で広がる「やさしい日本語」を学び、日本人と外国人とが、話し言葉や書き言葉を「やさしい日本語」に言い換える練習をしました。その人に合った伝え方をすることが大切、絵やローマ字を活用すれば伝わりやすいなど、たくさんの発見がありました。



人口推移
人口：174,894人 (前月比 -54)
男性：84,705人 (-12)
女性：90,189人 (-42)
世帯数：63,724世帯 (-2)

[平成29年1月31日現在]

3月の市税・保険料の納期限

国民健康保険料・後期高齢者医療保険料(第9期)の納期限は

3月31日(金)です。 期限までに忘れずに納めましょう。